

平成31年度（平成30年度実施）福島県公立学校教員採用候補者選考試験

教職教養問題の主な内容、小論文のテーマ

1 第一次選考試験 教職教養問題の主な内容

＜小・中・高・特別支援学校、養護教諭＞

＜教育法規＞

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法 など
- (2) 地方公務員法、教育公務員特例法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律 など
- (3) 学校保健安全法、児童虐待の防止等に関する法律 など

＜学習指導要領＞

- (1) 学習指導要領＜小・中・高・特別支援学校＞
総則、総合的な学習の時間 など

＜その他＞

- (1) 文部科学省通知、生徒指導提要 など
- (2) 第6次福島県総合教育計画 など

2 第二次選考試験 小論文のテーマ

(1) 小学校

「生徒指導リーフ『絆づくり』と『居場所づくり』Leaf.2（文部科学省 国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター）の中には、『居場所づくり』とは、児童生徒が安心できる、自己存在感や充実感を感じられる場所をつくりだすことであり、教職員がそうした場所づくりを進めることの大切さが書かれています。

あなたは、学級担任として、どのような具体策を講じながら『居場所づくり』に取り組んでいきますか。あなたの考えを800字程度で述べなさい。（50分）

(2) 中学校

いじめを苦にした自殺や命に関わる犯罪など、「命」に関わる痛ましいニュースが後を絶たない昨今、学校教育において「生命を大切にする教育」をますます積極的に進めていく必要があります。

あなたは、学級担任として、「生命を大切にする教育」にどのように取り組み、生徒が「命」の大切さや生きる喜びを実感できるようにしていきますか。具体的な手立てを示しながら、あなたの考えを800字程度で述べなさい。（50分）

(3) 高等学校

① 平成28年12月に「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」が公布され、今年度（平成30年度）から高等学校においても「通級による指導」（大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について障害に応じた特別の指導を特別な場で受ける指導形態）が実施されるようになり、特別支援学校のみならず高等学校の教員にとっても、特別な教育的支援の手立てを身に付けることが急務となっています。

通常の学級における教科指導の中で、特別な支援を必要とする生徒への対応としてどのようなことに留意する必要がありますか。自分自身の教科指導における対応について具体的に900字程度で述べなさい。（50分）

② 2年後に東京で開催される第32回オリンピック競技大会並びに東京2020パラリンピック競技大会では、本県においてもその一部の競技が開催されます。大会組織委員会はこれを機に、「将来の国際社会や地域社会での活動に、主体的、積極的に参加できる人材」を育てていくことをレガシー（遺産）とすることを目指しています。

このような人材を育てるために、あなたは自分自身の教科指導をとおしてどのように取り組みますか。あなたの考えを具体的に900字程度で述べなさい。（50分）

(4) 特別支援学校

児童生徒や学校の実態、指導の内容に応じ、「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」の視点から授業改善を図ることが重要となっています。あなたは、特別支援学校の教員として、どのように授業の改善に取り組んでいくのか、「平成30年度学校教育指導の重点」（福島県教育委員会版）を踏まえ、任意の指導場面を想定して具体的に記述しなさい。（50分、900字以内）

(5) 養護教諭

今日、肥満やアレルギー疾患、性に関する問題など、児童生徒が抱える健康問題がますます多様化・複雑化していることから、養護教諭には、専門性を生かしつつ、それらの課題への対応において中心的な役割を果たすことが期待されています。

あなたは、養護教諭として、自分の持つ専門性を生かしながら、児童生徒の「健康な生活を送るために必要な力」をどのように育成していきますか。あなたの考えを800字程度で述べなさい。（50分）

教職教養問題の主な内容、小論文のテーマ

1 第一次選考試験 教職教養問題の主な内容

＜小・中・高・特別支援学校、養護教諭＞

＜教育法規＞

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法 など
- (2) 地方公務員法、教育公務員特例法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律 など
- (3) 学校保健安全法、児童虐待の防止等に関する法律 など

＜学習指導要領＞

- (1) 学習指導要領＜小・中・高・特別支援学校＞
総則、総合的な学習の時間 など

＜その他＞

- (1) 文部科学省通知、生徒指導提要 など
- (2) 第６次福島県総合教育計画 など

2 第二次選考試験 小論文のテーマ

(1) 小学校

平成３１年度全国学力・学習状況調査の福島県の結果を見ると、「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導改善や工夫が見られる学校の割合」が大きく減少するなど、授業改善をさらに進める必要があります。

あなたは、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業の中でどのような取組をしていきますか。あなたの考えを８００字程度で述べなさい。（５０分）

(2) 中学校

児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、キャリア教育の充実を図ることが大切です。

あなたは、自分らしい生き方を実現する力を育むため、どのようにキャリア教育を進めていきますか。あなたの考えを８００字程度で述べなさい。（５０分）

(3) 高等学校

- ① 選挙権年齢が満１８歳以上に引き下げられたことを踏まえて、高校生の間から有権者となりうる高校生世代が、国家・社会の形成者として現在から未来を担っていくという公共の精神を育み、行動につなげていく主権者教育の重要性が叫ばれています。主権者教育によって生徒にどのような資質を身に付けさせるべきだと考えますか。また、そのような資質を身に付けさせるために、高等学校の教員として、どのように指導しますか。あなたの考えを９００字程度で述べなさい。（５０分）

- ② 教育再生実行会議第十次提言（平成２９年６月決定）では、地域の教育力を向上させていくための一つの方策として、高校生が地域の大人とともに地域課題を解決する取組等を促進、支援することが提言されました。

あなたは教科担当又は学級担任として、どのように地域課題を解決する取組を設定し、指導しますか。具体的な取組と指導の方法について９００字程度で述べなさい。（５０分）

(4) 特別支援学校

障がいのある子どもたちが充実した生活を送るためには、家庭や医療、福祉、労働等の関係機関と連携した幼児期から学校卒業後までの切れ目のない支援を行っていく必要があります。

あなたは、特別支援学校の教員として、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実を図るために、どのようなことを大切にして日々の指導に取り組んでいくのか、「平成31年度学校教育指導の重点」（福島県教育委員会版）を踏まえ、任意の指導場面を想定し記述しなさい。（50分、900字以内）

(5) 養護教諭

平成30年度学校保健統計によると、本県の肥満傾向の出現率は、ほとんどの年齢で全国平均を上回っています。子どもの肥満は将来の生活習慣病発症の温床となるだけでなく、現在の児童生徒自身の身体活動や健康状態にも大きな影響を与えるものです。

あなたは、養護教諭として、この課題をどう受け止め、どのような取組をしていきますか。あなたの考えを800字程度で述べなさい。（50分）